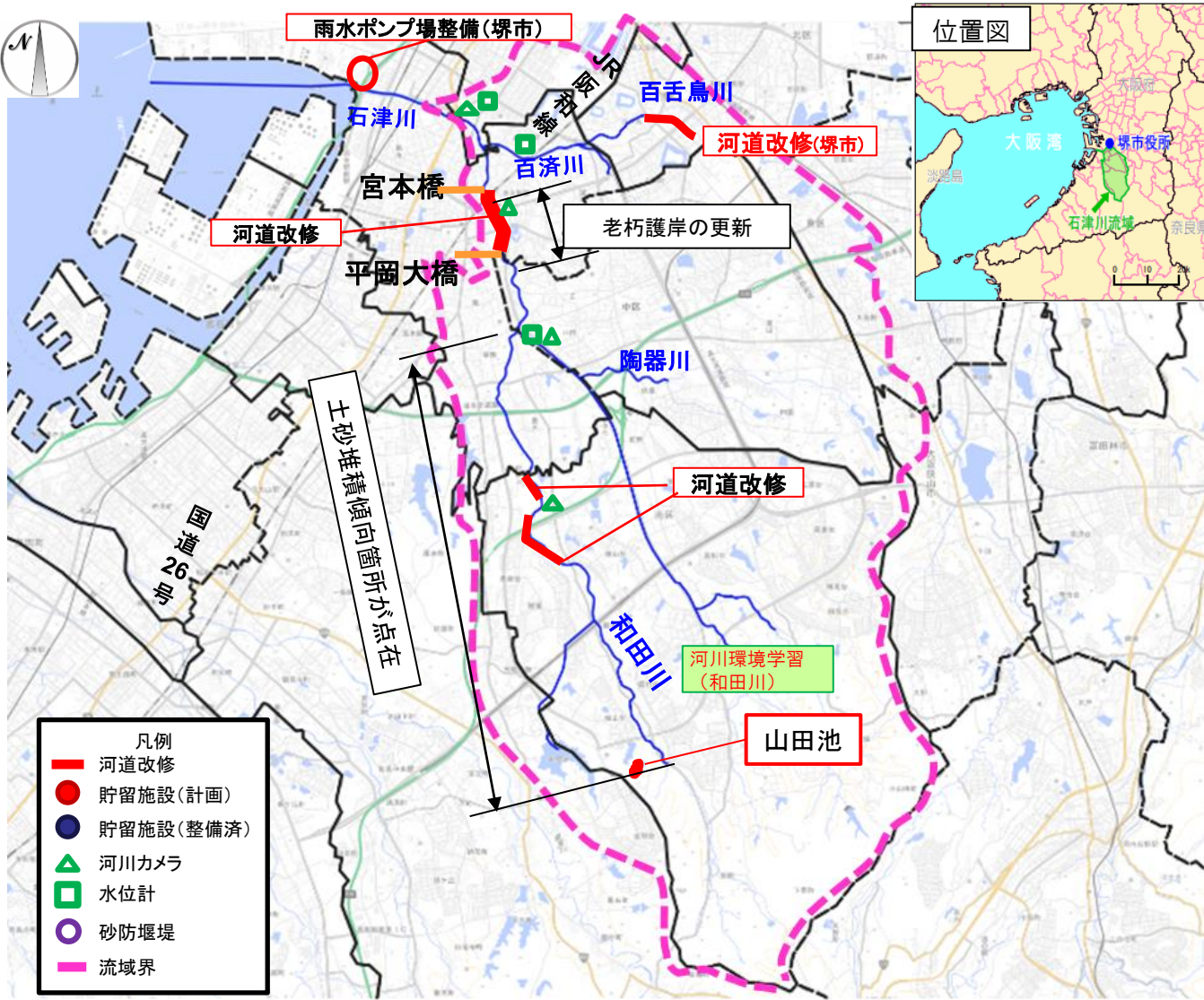


○石津川では時間雨量65ミリ程度の降雨による洪水を安全に流下させることが可能となるよう、河床掘削を行います。また、老朽化対策や河床低下対策を併せて行う必要がある区間は河川特性を考慮し、適正な河川断面を検討のうえ整備していきます。



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道拡幅、河道掘削【府・市】
- ・貯留施設整備【府】
- ・ため池及び農業用施設等の治水活用【府・町・民間】
- ・既存貯留施設の治水活用【府・市】
- ・砂防施設の保全【府】
- ・河道内堆積土砂の撤去【府】
- ・下水道等排水施設の整備【市】

●被害対象を減少させるための対策

- ・土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度
- ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ①情報伝達、避難計画等に関する事項
- ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
 - ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府・市】
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施【府・市】
 - ・ホットラインの運用（洪水・土砂・高潮）【府・市】
 - ・タイムラインの策定・運用(広域・市域・地域)【府・市・民間】
 - ・水害危険性の周知促進【府】
 - ・洪水予測や水位情報の提供の強化、水位計、河川カメラの整備【府】
 - ・ICTを活用した洪水情報の提供【府、気象台】
 - ・隣接市町における避難場所の設定（広域避難体制の構築）等【府・市町】
 - ・応急的な退避場所の確保【市】
 - ・市庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電機等整備）【市】
 - ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善【府、市】
 - ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【府・市】
- ②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等
- ・ハザードマップの改良、周知、活用【府、市】
 - ・防災教育の推進【府、市】
 - ・共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成【府・市】
 - ・住民一人一人の避難計画(マイタイムライン)
 - ・情報マップの作成促進【府、市】等

●グリーンインフラの取組み

- ・小学校における河川環境学習
- ・河川清掃活動／アドプト・リバー参加団体への協力

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 703」

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

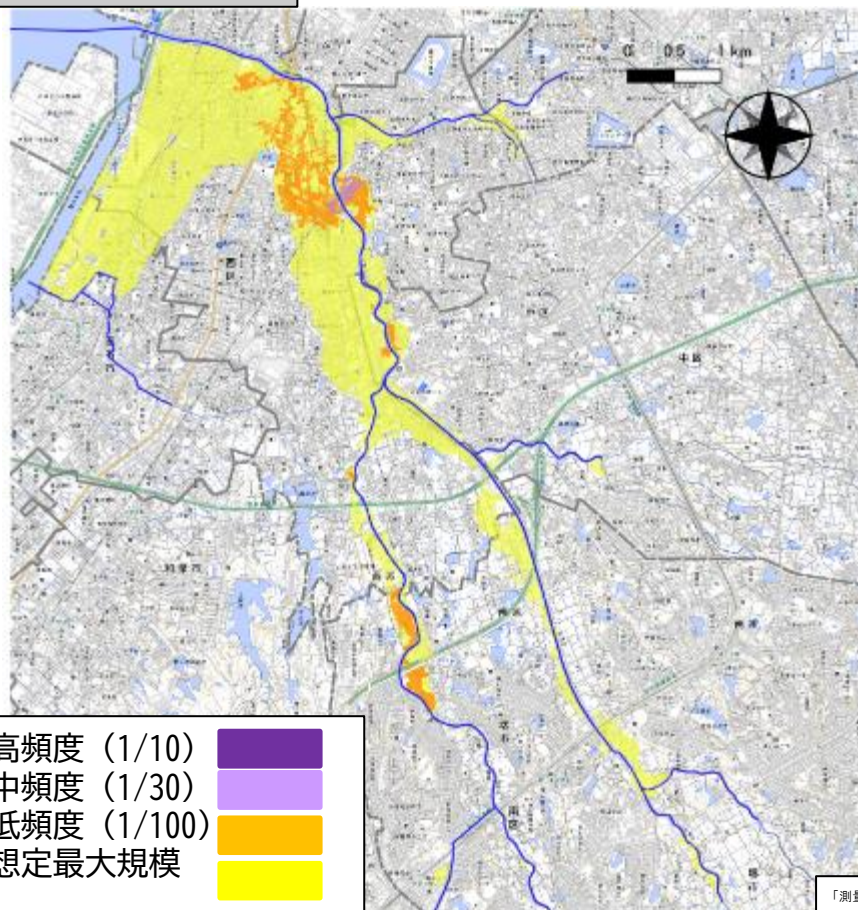
- 石津川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】 住宅密集地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道改修およびため池の治水活用に着手。
 - 【中期】 河道改修の推進およびため池の治水活用。
 - 【中長期】 1/100確率降雨に対して浸水を発生させない対策とため池の治水活用を完了。

区分	対策内容	実施主体	65ミリ対策概成(堺市分は50ミリ対策概成)		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	氾濫想定区間の河道改修	大阪府・堺市	●		●
	河道内の堆積土砂除去	大阪府	●	●	定期点検による継続監視の実施 及び堆積状況に応じ適宜除去実施
	老朽化護岸の更新	大阪府	●	●	定期点検による継続監視の実施 及び損傷状況に応じ適宜更新実施
	雨水ポンプ場整備・管渠整備	堺市	●	●	
	ため池及び農業用施設の治水活用(山田池等)	大阪府、堺市、高石市、民間	●	●	
	既存貯留施設の治水活用	大阪府、堺市、高石市	●	調査・検討	●
	砂防施設の保全	大阪府	●	●	●
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府、堺市	●	●	●
	土地利用誘導(立地適正化計画)	大阪府、堺市、高石市	●	●	●
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善等	大阪府、堺市、高石市、民間、気象台	●	洪水浸水想定区域指定 拡大完了(R6年度)	
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等 ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定等	大阪府、堺市、高石市	●	雨水出水浸水想定区域図 作成・公表(R7年度)	
グリーンインフラの取組み	河川環境学習の実施 河川清掃活動 アドプト・リバー参加団体への協力	大阪府	●	●	●

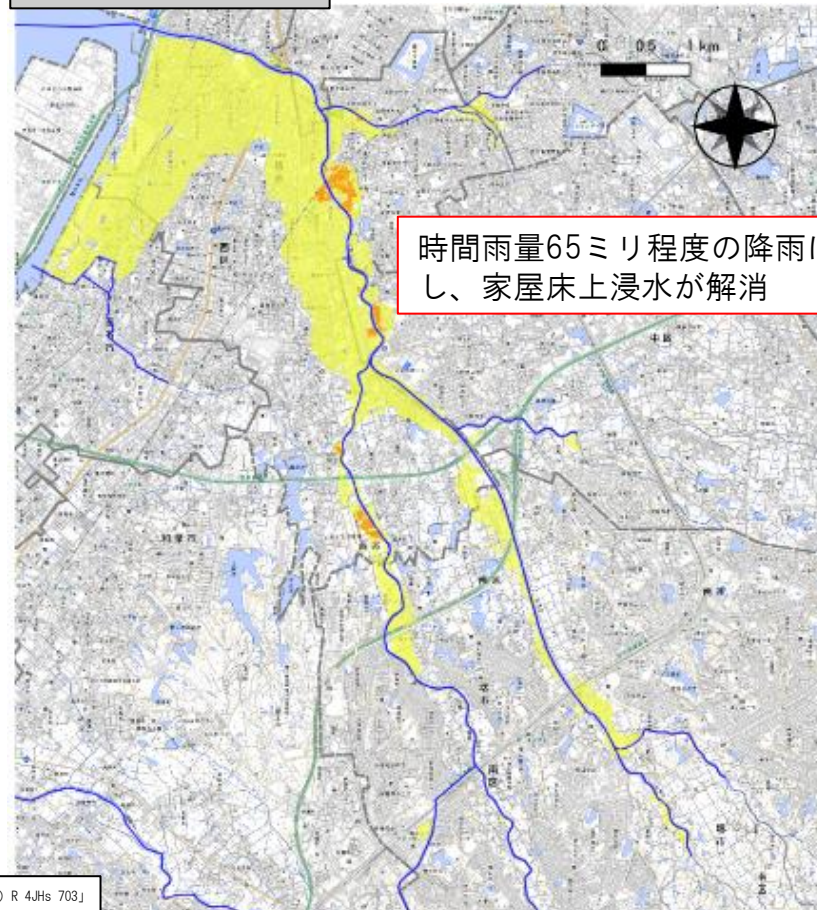
河川整備等による効果

当面の治水目標である時間50mm程度（1／10年）の降雨を安全に流下させ、
時間65mm程度（1／30年）までの降雨による家屋床上浸水を防ぐ

現状



整備後



「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 703」

※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（H30）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考慮していない。

